

土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害の種類	崖崩れ(急傾斜地の崩壊)	土石流	地すべり
特徴	斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる現象です。 崩れ落ちるまでの時間がごく短いため、人家での近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことが多い災害です。	斜面の一部又は全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象です。 土壌の移動量が大きいため、甚大な被害が発生します。	山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって、一気に下流へと押し流される現象です。 時速20～40kmという速度で、一瞬のうちに人家や畑等を壊滅させてしまいます。
主な前兆	・崖にひび割れができる ・小石がぱらぱらと落ちてくる ・崖から水が湧き出る ・湧水が止まる、濁る ・地鳴りがする	・地面のひび割れや陥没が発生する ・崖や斜面から水が噴き出す ・井戸や沢の水が濁る ・地鳴り、山鳴りがする ・樹木が傾く ・亀裂や段差が発生する	・山鳴りがする ・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める ・腐った土の臭いがする ・降雨が続くのに川の水位が下がる ・流木が裂ける音や意思がぶつかり合う音が聞こえる
抽出基準			